

佛教史學會 3月例会

仏教史がつなぐアジアと日本

日時 2014年3月15日(土) 13:00-17:00

場所 名古屋市立大学山の畑キャンパス(滝子キャンパス)
1号館203教室(〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1)

◎報告1 「7～8世紀における地方寺院の展開過程 ～選地傾向を中心として～」

梶原 義実 氏(名古屋大学)

主著『国分寺瓦の研究』(名古屋大学出版会、2010年)

○コメント1 佐藤 文子 氏(佛教史學會)

◎報告2 「僧侶の致書文書について」

廣瀬 憲雄 氏(愛知大学)

主著『東アジアの国際秩序と古代日本』(吉川弘文館、2011年)

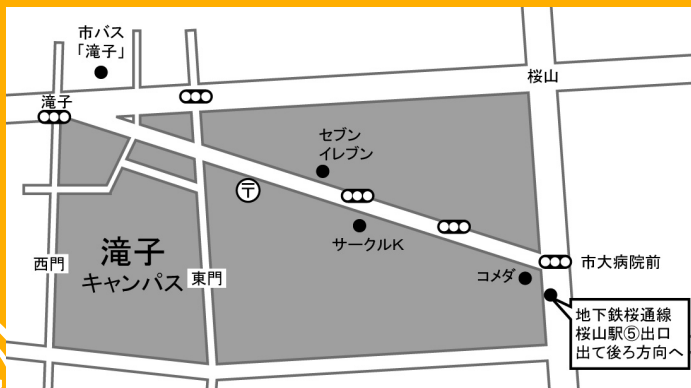
○コメント2 藤原 崇人 氏(佛教史學會)

◎総合司会 吉田 一彦 氏(名古屋市立大学・佛教史學會評議員)

●会場へのアクセス

地下鉄桜通線桜山駅(名古屋駅から20分弱)

下車徒歩12分



連絡先: 吉田一彦研究室
電話 052-872-5183(直通)
yoshida@hum.nagoya-cu.ac.jp

事前申込不要・来聴無料です。
一般の方の来聴も歓迎いたします。

[主催]
佛教史學會

〒603-8143
京都府京都市北区小山上総町
大谷大学 平野寿則研究室内
Tel 075-432-3131(代)
HP <http://bukkyoshigaku.jp/>